

令和7年度の重点 「チーム明星で 未来輝く星の子に 最善のまなびを！」

# 翔けよ 明星の子

かけよ ほしのこ

星かがやき、花かおり、歌ながれる学校

令和7年12月23日発行 明星小学校学校だより NO. 17 文責 校長

## 「星の子」の学び ~令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から~

### 児童質問紙より

#### 心の成長・充実

学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

自分には、よいところがあるとおもいますか。

帯広市立明星小学校  
北海道(公立)  
全国(公立)

先生は、あなたよいところを認めてくれていると思いますか。

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

将来の夢や目標をもっていますか。

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

人が困っているときは、進んで助けていますか。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

#### 学習への意欲

国語の勉強は好きですか。

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

算数の勉強は好きですか。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方にはじめたりすることができますか。

理科の勉強は好きですか。

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。

学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

## 【心の成長・充実】

◎「自分には、よいところがあるとおもいますか。」の項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の2つを合わせたポイント数は全国のポイント数を上回っています。

⇒日々の授業はもちろん、様々な場面で子どもたちが「周りから認められる」機会が増えているということが分かります。児童会活動による異学年交流活動や授業内における友達との交流活動、担任による意識的な働きかけなどが児童の自信へとつながり、今回の結果「自己肯定感や自己有用感の高まり」の要因となっていると考えられます。

☆引き続き児童が他者との交流を通じて自分の良さを感じられる機会をもてるよう、全校で取り組んで参ります。

◎「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の3つの項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の2つを合わせたポイント数は全国のポイント数を上回っています。

⇒児童会活動や学級での係活動などの成功体験から「自分は多くの人に認められている。」という気持ちが高まり、「今度は自分も周りのために何かしたい。」という思いにつながっていると考えられます。

☆引き続き児童同士でお互いに高め合えるような授業での取組、児童会活動、学級での仕事などを取り入れて参ります。

◎「学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。」の項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の2つを合わせたポイント数は全国のポイント数を上回っています。

⇒担任が設定した学級活動などで、児童同士がお互いの良さを見つけることができ、自分の生活に生かそうと思える学級風土が、今回の結果の要因となっていると考えられます。

☆引き続きお互いを認め合い、よいところを伸ばしていけるような学級経営、学級風土作りに学校全体で励んでいきます。

●「将来の夢や目標をもっていますか。」の項目は、わずかに全国のポイント数を下回りました。

☆色々な職業について調べるなど「キャリア教育」を充実させ、どんな選択肢があるのかを児童自身に知つてもらえるような取組を授業の中に取り入れていければと考えています。

## 【学習への意欲】

◎国語、算数、理科の3教科全てで「好き」「どちらかといえば好き」を選んだ児童の割合が全国の割合を上回っています。

⇒現在校内で研究教科としている算数は、全国と比べて高い結果となりました。子どもたち自身で考え主体的に学んでいく授業の方法が、今回の結果の要因となっていると考えられます。

☆引き続き児童が主体的に学んでいけるような授業作りを学校全体で心がけていきます。

◎「学習した内容について、分かった点、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。」という項目において「できている」「どちらかといえばできている」の2つを合わせたポイント数は全国のポイント数を上回っています。

⇒自分の学習を振り返る時間を授業の中で取り入れていることが、今回の高い結果の要因となっていると考えられます。また、子どもたちも自分の学びを調整する力が高まっていると考えられます。

☆引き続き、授業の最後に「振り返りの時間」を設定し、授業内容の理解を高められるよう取り組んで参ります。

◎「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか。」という項目において「できている」「どちらかといえばできている」の2つを合わせたポイント数は全国のポイント数を上回っています。

⇒校内の研究で進めている「交流活動」の成果が出ていると考えられます。一人ではなかなか広がらない考えも他の人の意見を聞くと広がることもあるということを子どもたちが授業中に実感することができていることが要因となっていると考えられます。

☆引き続き児童の交流する場面を大切にした授業作りを学校全体で心がけていきます。